



医療機関変革の統合DX支援サービス 「Hospital Managed Service」のご紹介

本日の講演者をご紹介します

自己紹介



北原 雄高

デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社
Life Science & Healthcare Unit
ディレクター

- ヘルスケア特化のコンサルティングファーム
 - 医療機関の再生、資金調達支援、統廃合
 - ヘルスケア領域のM&A支援
- ロンドン在中
 - NHS Hospitalの改革
- ヘルステック企業
 - ソリューションデザインの責任者
- 2022年デロイトに参画
 - 医療のデジタルトランスフォーメーションを中心としたプロジェクトをリード
 - 今回のHospital Managed Serviceの事業構想をリード

本日の講演者をご紹介します

自己紹介



宮越 弘樹

デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社
Engineering Unit
シニア マネジャー

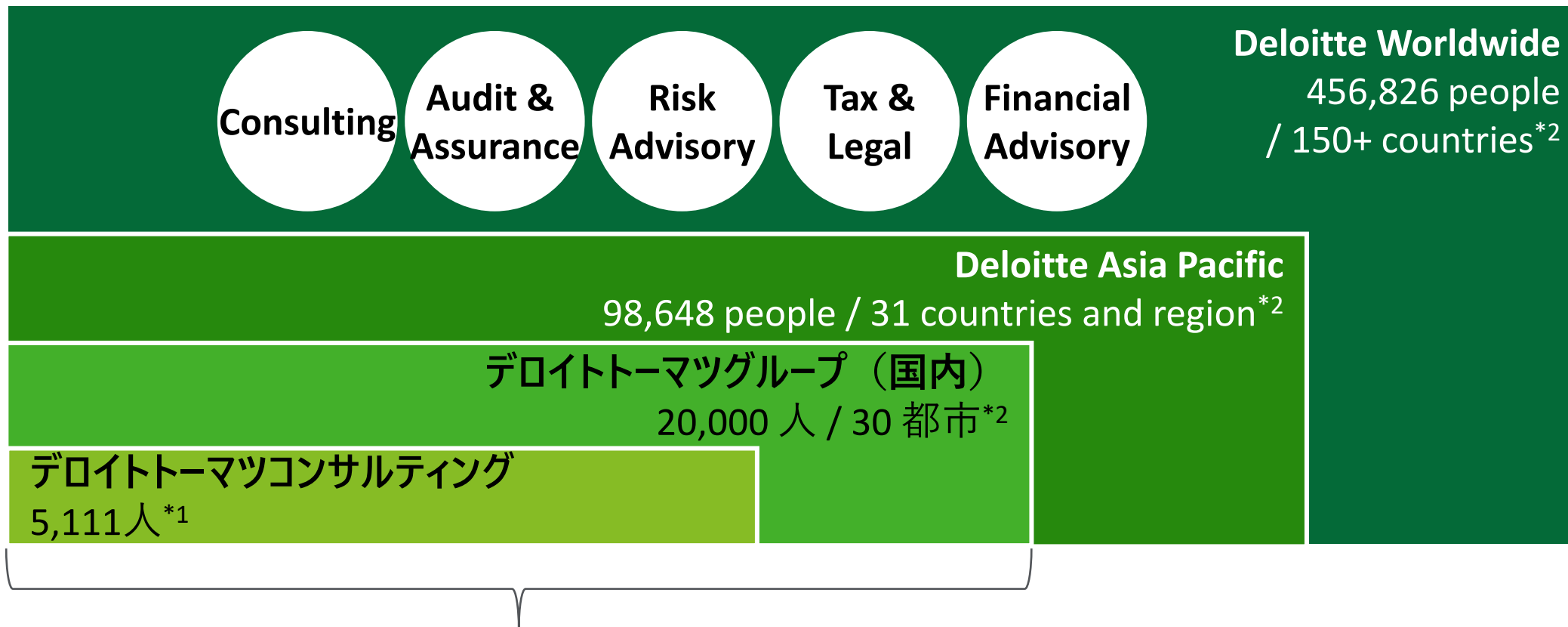
<プロフィール>

日系大手SIerを経て現職。多様な業界の顧客に対し、DX化構想、システム企画から、アーキテクチャ設計、導入までを多数実施。特に、API技術や・API活用によるビジネス変革や、システム連携・統合の分野に強みを持つ。

テクノロジーコンサルティング業務への従事に加え、システム開発プロジェクトのデリバリにも従事しており、今回開発したHospitalLakeでは、開発PMとアーキテクトを務めている。

未来を創るビジネスを、全世界150カ国に45万人を超えるエキスパートと

デロイトトーマツグループ



ヘルスケア & ライフサイエンス：約800名

*1：2024年5月31日現在

*2：2023年5月31日現在

医療戦略、診療情報管理士、臨床職（医師、看護師）、医療情報技師、クラウド専門家、AI専門家・・・

医療機関、医療業界の変革を伴に実行することができないかという思いから、 本サービスの構想が始まりました

デロイトが本サービスを開始した背景

コンサルティングファームに求められる価値の変化

Know What 何をすべきかを知っている



Know How 実現する術を知っている



Know Who 実現に必要な人を知っている

医療機関の変革を伴に実行する

医療機関の成功にコミットするために、

“サービス”、“テクノロジー”、“エコシステム”を融合する

ことはできないだろうか……

インターシステムズ様との出会い

Hospital Managed Serviceを通じて、ITを活用した変革の実現・運用まで伴走します

Hospital Managed Serviceを通じて当社が提供する価値

- サービス×テクノロジーの融合によって、従来のコンサルティングファームでは難しかった「実現・運用」まで伴走
- テクノロジー導入ではなく、病院主導の変革プロジェクトの推進
- システム間連携、情報連携・統合を実現するプラットフォーム「HospitalLake」によって、迅速、かつ柔軟なソリューション実装を支援し、医療機関のワークフロー変革を実行
- 「HospitalLake」を軸に、様々なソリューションプロバイダー様とのテクノロジーエコシステムを構築

本日のアジェンダ

1. 医療業界に求められる変革

2. デロイト トーマツのご提案するアプローチ

3. HospitalLakeご紹介

4. 今後に向けて



1. 医療業界に求められる変革

持続性ある医療のために、医療機関は難しい経営の舵取りが求められています

医療機関に求められる変革の方向性：Quadruple aims

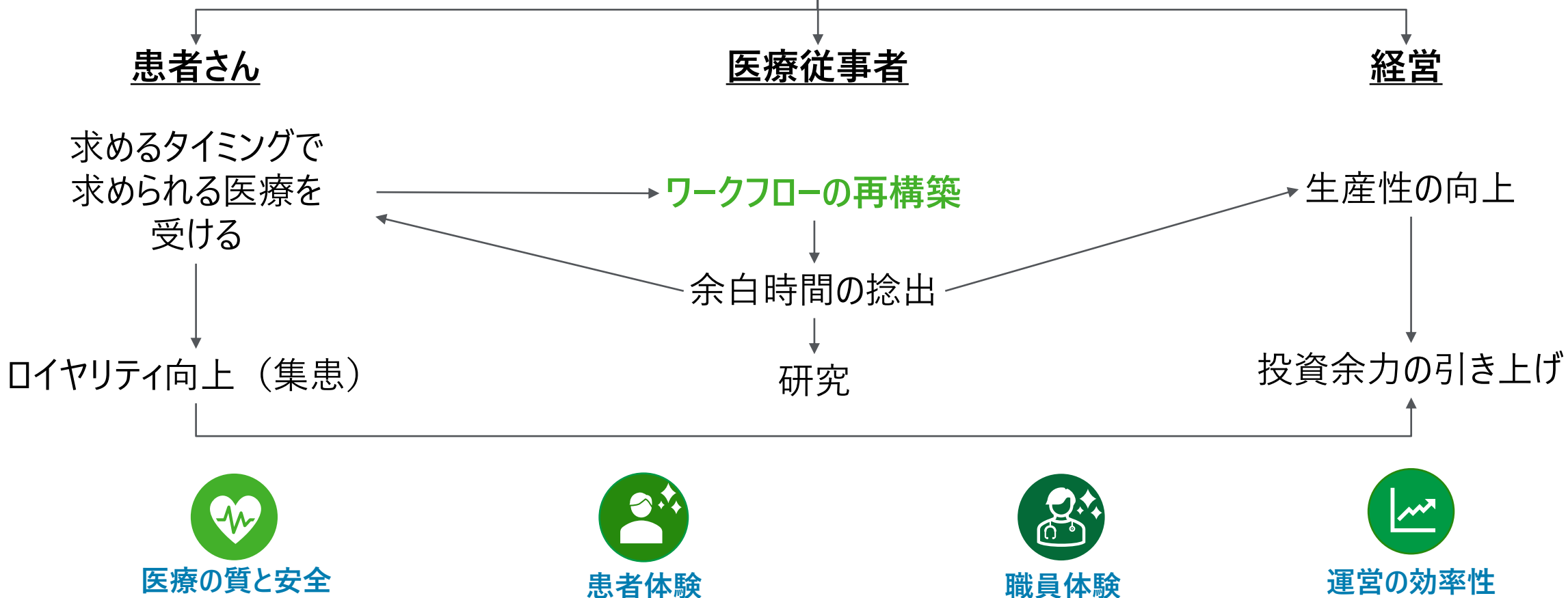


医療DXが目指す効果の一つは“時間創出”であり、ワークフロー改革が必要とされます

弊社が考える医療におけるデジタルトランスフォーメーション

医療DX = **時間創出** = ワークフロー変革

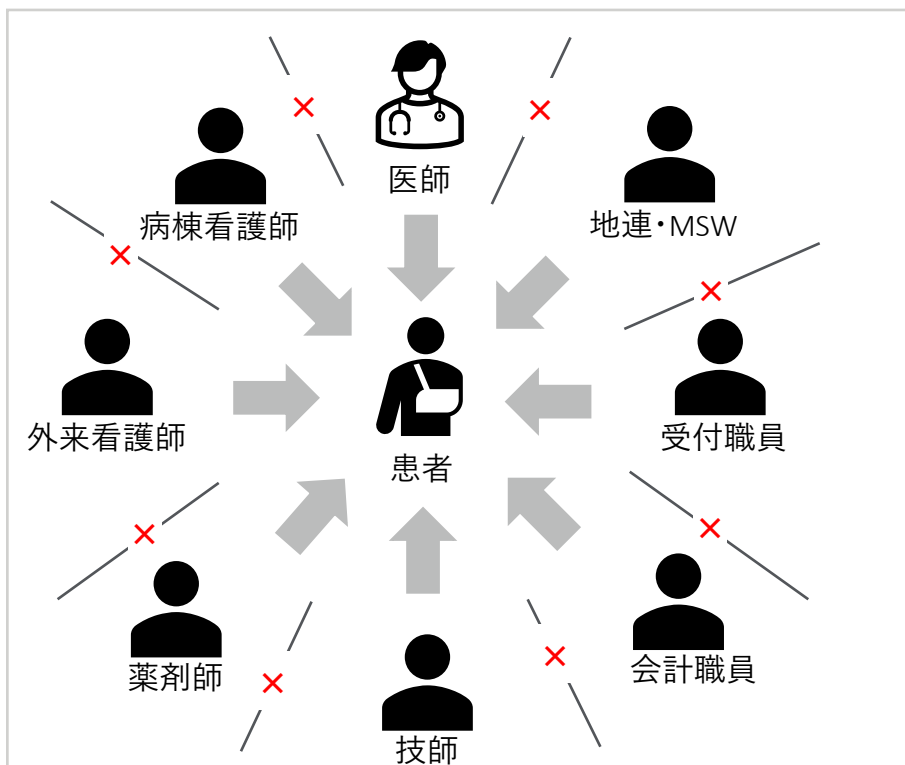
誰もが共感する価値観



患者の価値に着目し、複数部門を跨ってワークフローを再構成する必要があります

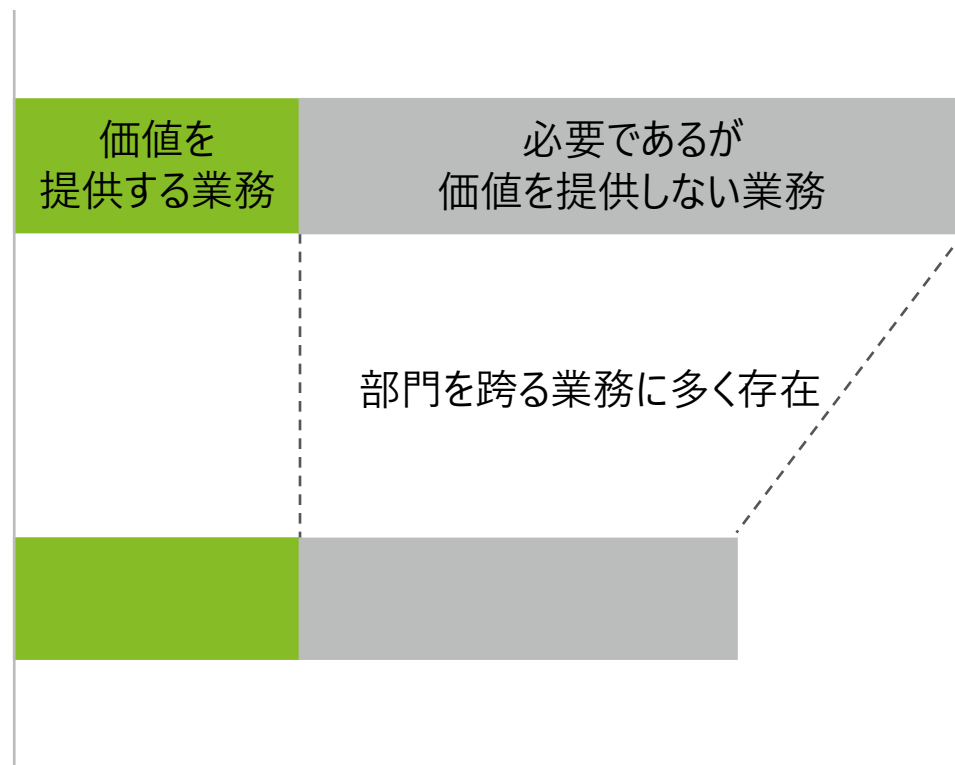
ワークフロー変革

各部署の業務はブラックボックス化



業務の大半は患者が価値を感じない業務で構成されている
*価値 = 顧客が喜んでお金を払ってもいいと思う業務

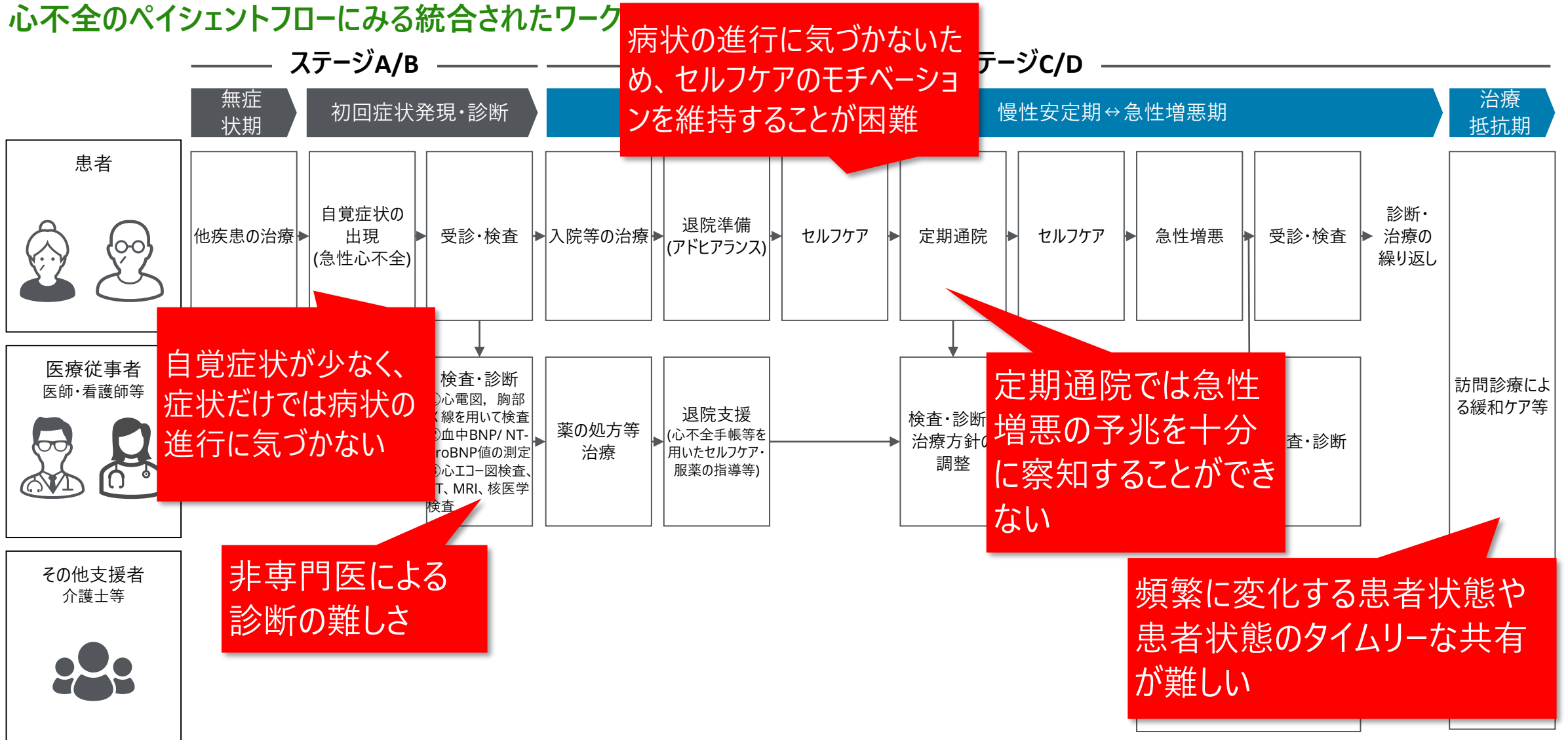
現行の業務



DXによって目指す
ワークフローの改革

病院内だけではなく、患者のセルフケア×医療・介護従事者の介入、遠隔×対面が統合されたワークフロー構築が必要とされています

心不全の患者フローにみる統合されたワーク



加速度的に進化するテクノロジーを迅速かつ柔軟に取り入れる対応力が求められています

「加速化」する世界

投影のみとさせていただきます

医療分野においても生成AIの活用が急速に広がっていますが、医療機関にとって価値あるものとするためには、これらの技術を複合的にワークフローに統合することが求められます

生成AIの活用領域（デロイトグローバルによる提供・開発状況）

デロイトグローバルによる提供・開発状況： ● 利用可能なPOC ● 開発済みのアセット ● 開発中のPOC ● 戦略的パートナーシップの可能性



変革の実行には組織全体の財務戦略の再考や、IT投資効果の向上が必要になります

財務的課題

年間IT投資額の対売上比率

● **6.6%** 国内金融業
データソース：企業IT動向調査報告書2022（日本情報システム・ユーザー協会）
*当該年度に支出予定の金額（キャッシュベース）を基本とし、償却費などの金銭的な支出を伴わない費用は除外した予算の売上比

● **5.0%** Globalの先進病院例
データソース：Kaiser Permanente公表資料

投資のリバランスも必要

● **1.9%** 日本の医療機関（500床以上）
データソース：IT時代における病院の取り組みに関するアンケート調査 中間報告（日本病院会）
*500床以上の119病院の平均で5年総額のIT投資費用の平準化金額の医業収益比率

IT導入効果の最適化

Return ↑
✓ ワークフロー変革
✓ 1次利用と2次利用の循環

+

Investment ↓
✓ 迅速
✓ 柔軟
✓ 省力
✓ スケーラビリティ



2. デロイト トーマツのご提案するアプローチ

従来のコンサルティングファームの域を超えて業界の変革にコミットする必要性を感じています

変革の難しさ

医療機関



全体変革を起こすためのリソース不足

- CIO不在によってIT戦略が作れない
- 財務戦略とIT投資の分断
- 部門や職種を跨るガバナンスの不在
- 業務プロセス変革やチェンジマネジメントの専門家の不在

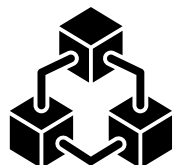
コンサルティング ファーム



プランニングと実現の乖離

- 構想やプランニングは行うが実現手段を持たない

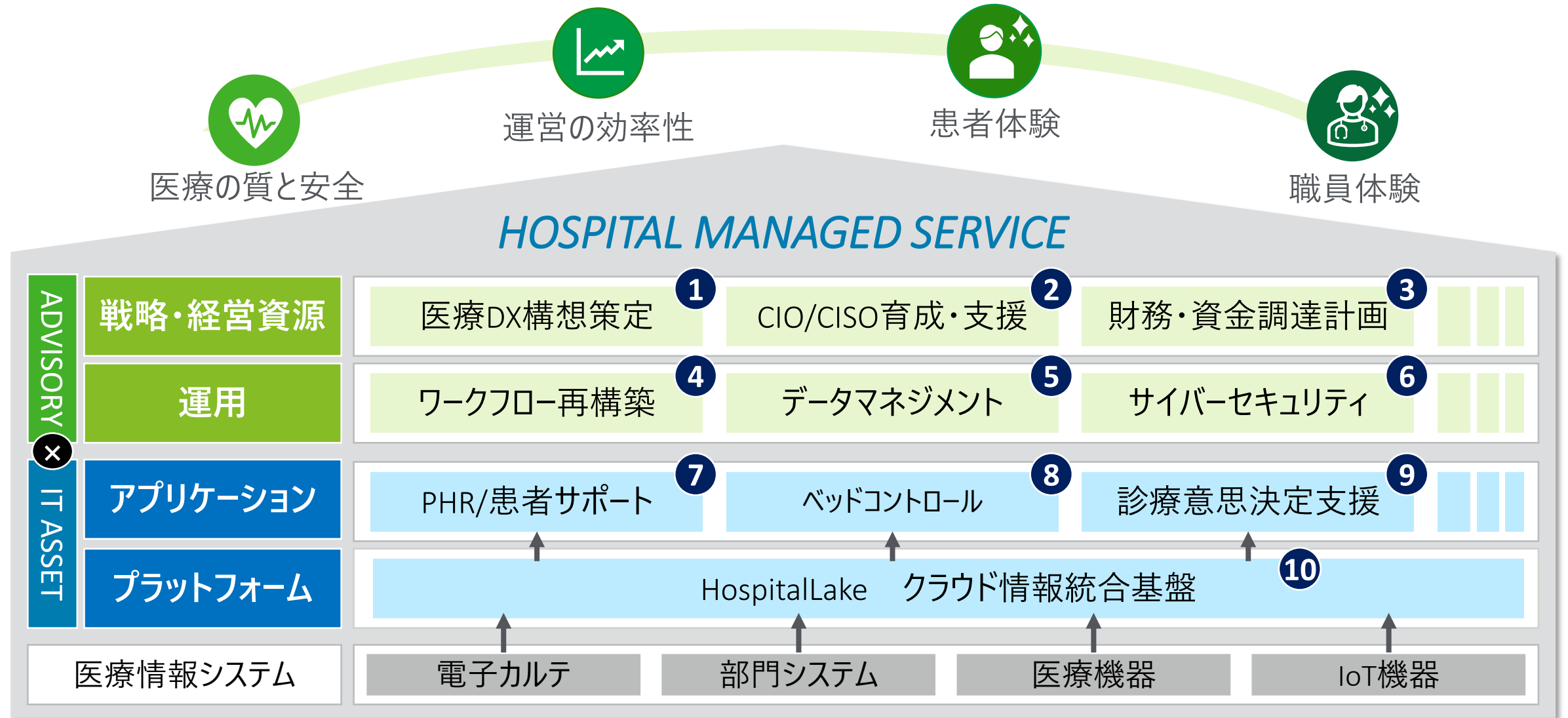
ソリューション



ソリューションの変化と多様化

- テクノロジーの見極めが難しい
- 複数のソリューションを統合するプレイヤーの必要性
- ブラックボックス化

Hospital Managed Serviceは、コンサルティングサービスと「HospitalLake」が統合された医療機関の変革を総合支援するサービスです



デロイト トーマツは医療機関のパートナーとして、
ビジョンとゴールを共有しながら、注力テーマを絞り込み、段階的に取り組んでいます

Hospital Managed Serviceによる変革のイメージ（1 / 2）

1次利用：ワークフロー改革

医療提供
モデルの転換

遠隔医療
多職種連携
CDS

患者体験の
創造

待ち時間の削減
患者参加型医療

業務の効率化

文章作成効率化
病床管理
院内物流

情報の1.5次・2次利用

経営管理の
強化

臨床・財務統合

教育

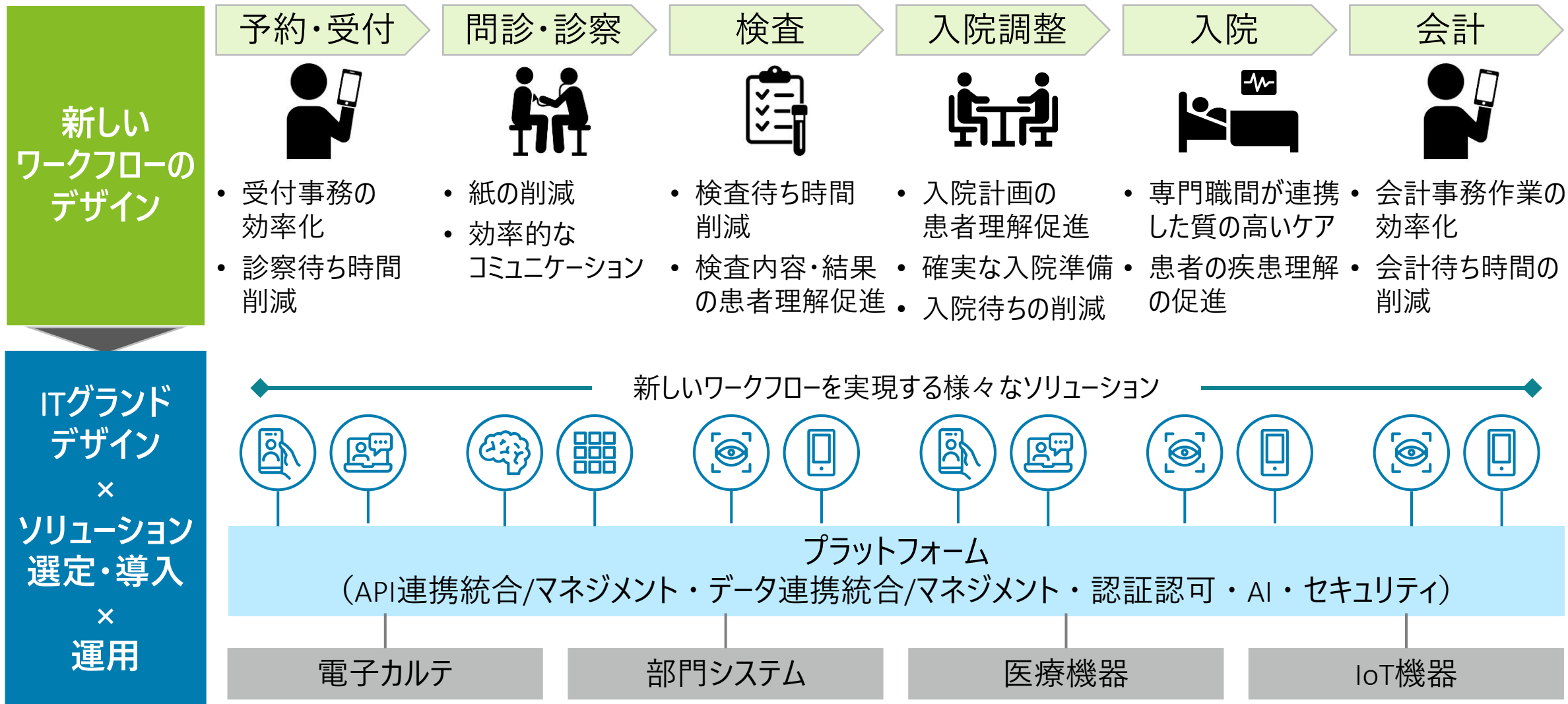
情報の教育活用
遠隔教育

研究

情報標準化

理想のワークフローをデザインし、実現に向けたITグランドデザイン、ソリューション選定導入、運用までを一貫してご支援しています

Hospital Managed Serviceによる変革のイメージ (2 / 2)



一見遠回りに見えても、問題の定義に解決策のデザインが続くという順序を間違えないことが 変革の成否を左右します

医療DXにおけるアプローチ

対象選定

目標設定

変革対象の選定

- 対象ワークフローの選定
- **ゴール設定**（定性・定量）
- チームの組成

現状
観察

問題定義

問題点の共通理解醸成

- 現状プロセスの**観察、描写**
- 問題の定義と**共通理解**の醸成
- 解決すべき**問題の優先順位**

あるべき
姿

解決策アイ
ディエーション

解決策のアイディエーション

- 問題解決のアイデア出し
- 解決策の**グランドデザイン**

実装
フェーズ

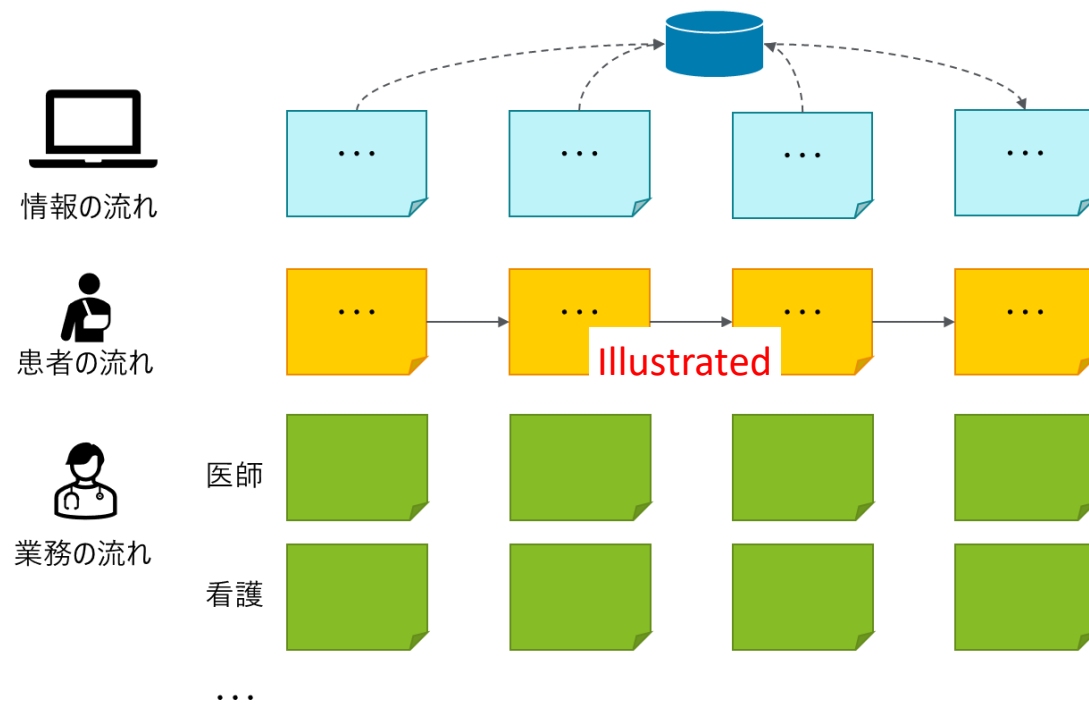
問題の共通理解やプロジェクト参画意識を醸成する上で、 多職種参加型で五感を駆使してバリューチェーンを可視化するメリットは大きい

多職種によるワークショップ

- 患者の流れを中心に、業務、情報の流れを可視化
- 問題の共通理解の醸成
- 参画意識の醸成



患者の流れを中心とした医療提供のバリューチェーン





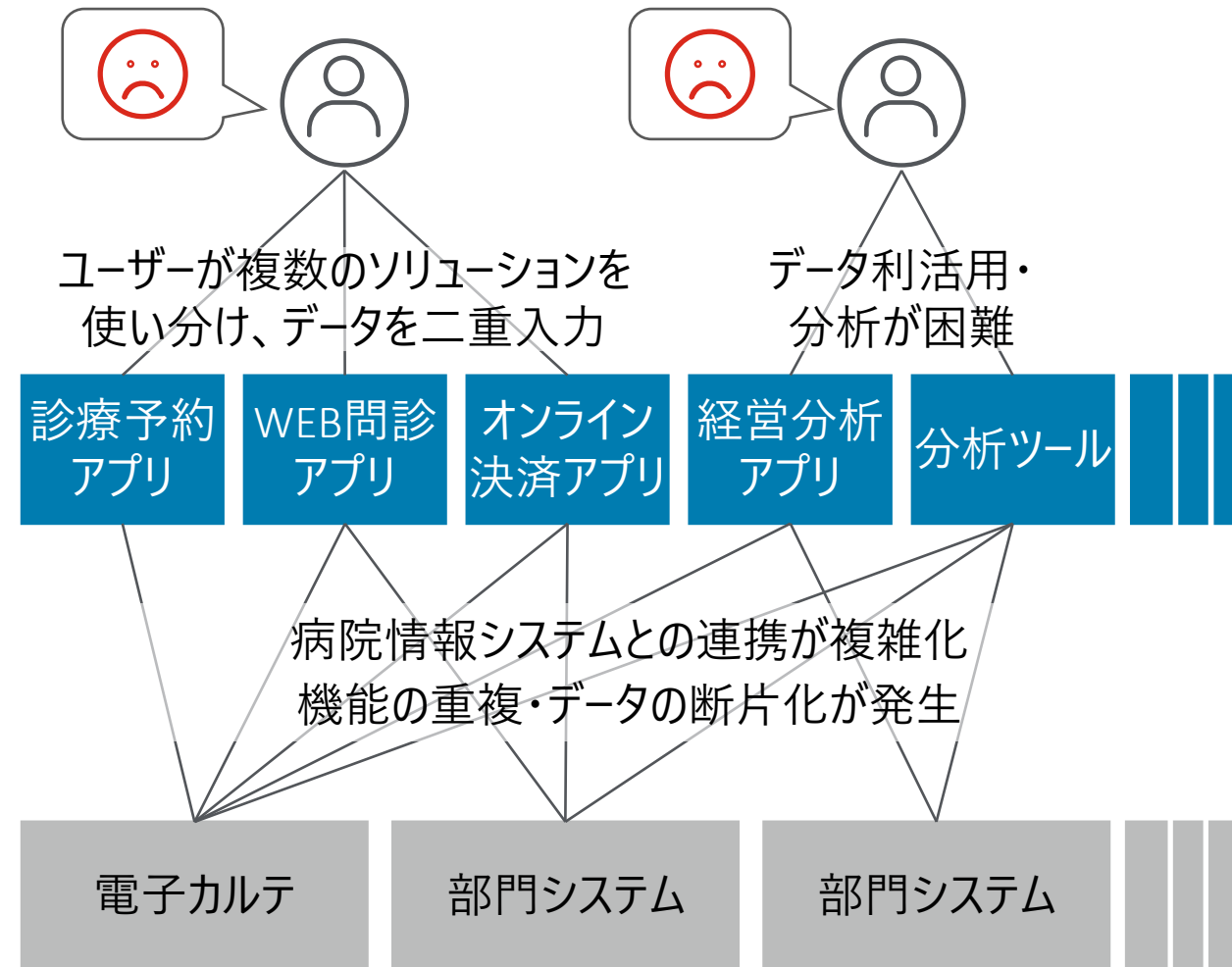
3. HospitalLakeご紹介

ワークフロー変革のためには様々なソリューションが必要となります。一方で、病院情報システムとの連携・統合が障壁になり、導入コスト上昇や導入効果が限定的になる場合があります

HospitalLake開発の背景（1 / 2）

ワークフロー変革への取り組みにおいて発生し得る課題

- ✓ 病院情報システムとの連携・統合の難しさによる、ソリューション導入期間の長期化・導入コスト上昇
- ✓ 十分に統合されていないソリューションの乱立
→使い勝手の低下→ワークフロー煩雑化・・・
- ✓ データの断片化によりデータ利活用が困難
→変革の効果分析が行われず改善が進まない



デロイトトーマツでは、これまでの経験を通して、継続的な変革の実現のためには、プラットフォームを中心としたアーキテクチャが必要との結論に至り、HospitalLakeを開発しました

HospitalLake開発の背景（2 / 2）

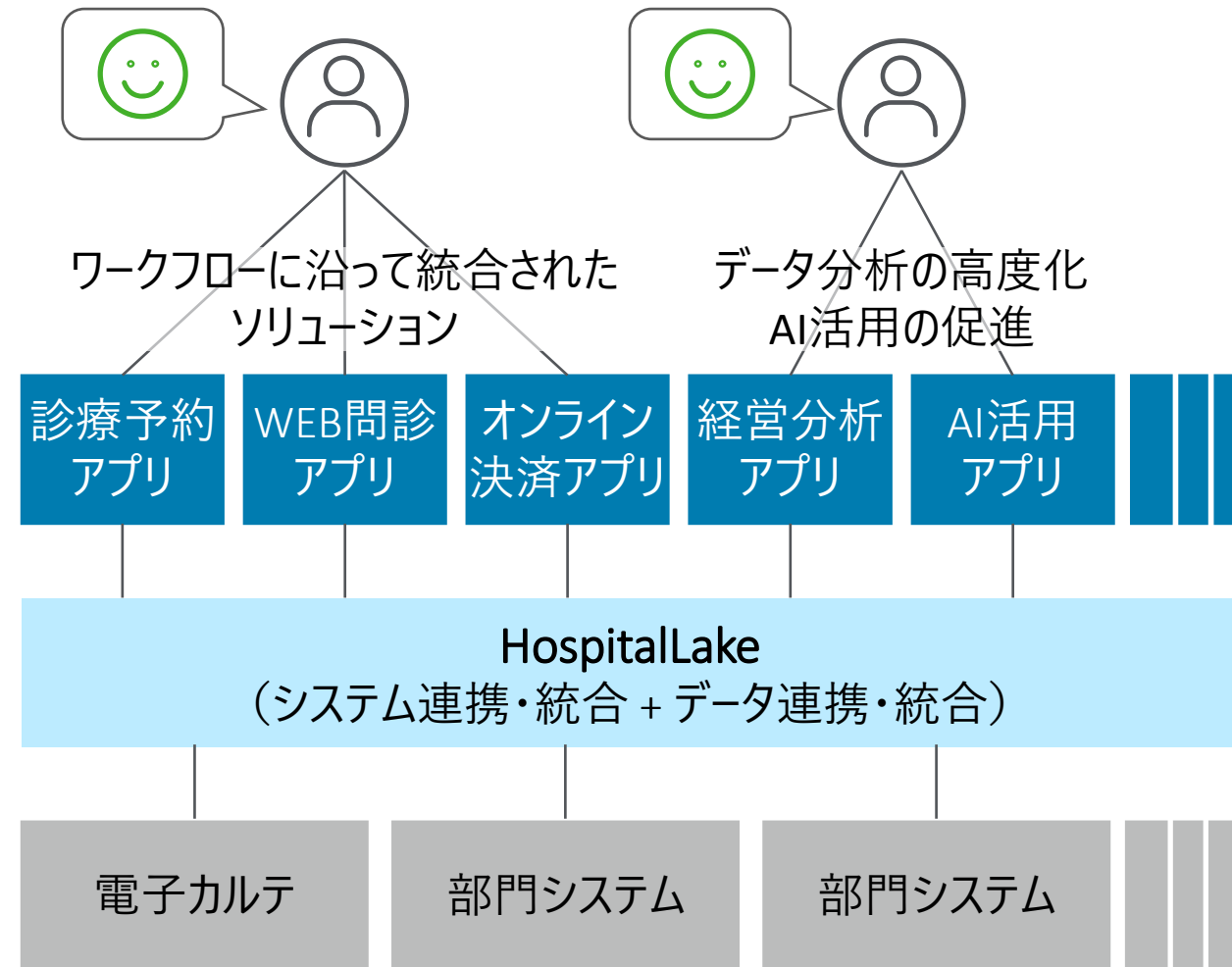
HospitalLake（プラットフォーム）が果たす役割

役割①: 病院情報システム・ソリューションの連携・統合

- ✓ ソリューションの容易かつ効果的な導入
- ✓ ワークフローに沿って統合されたソリューション
- ✓ ソリューションの入れ替え・変更を省力化・迅速化

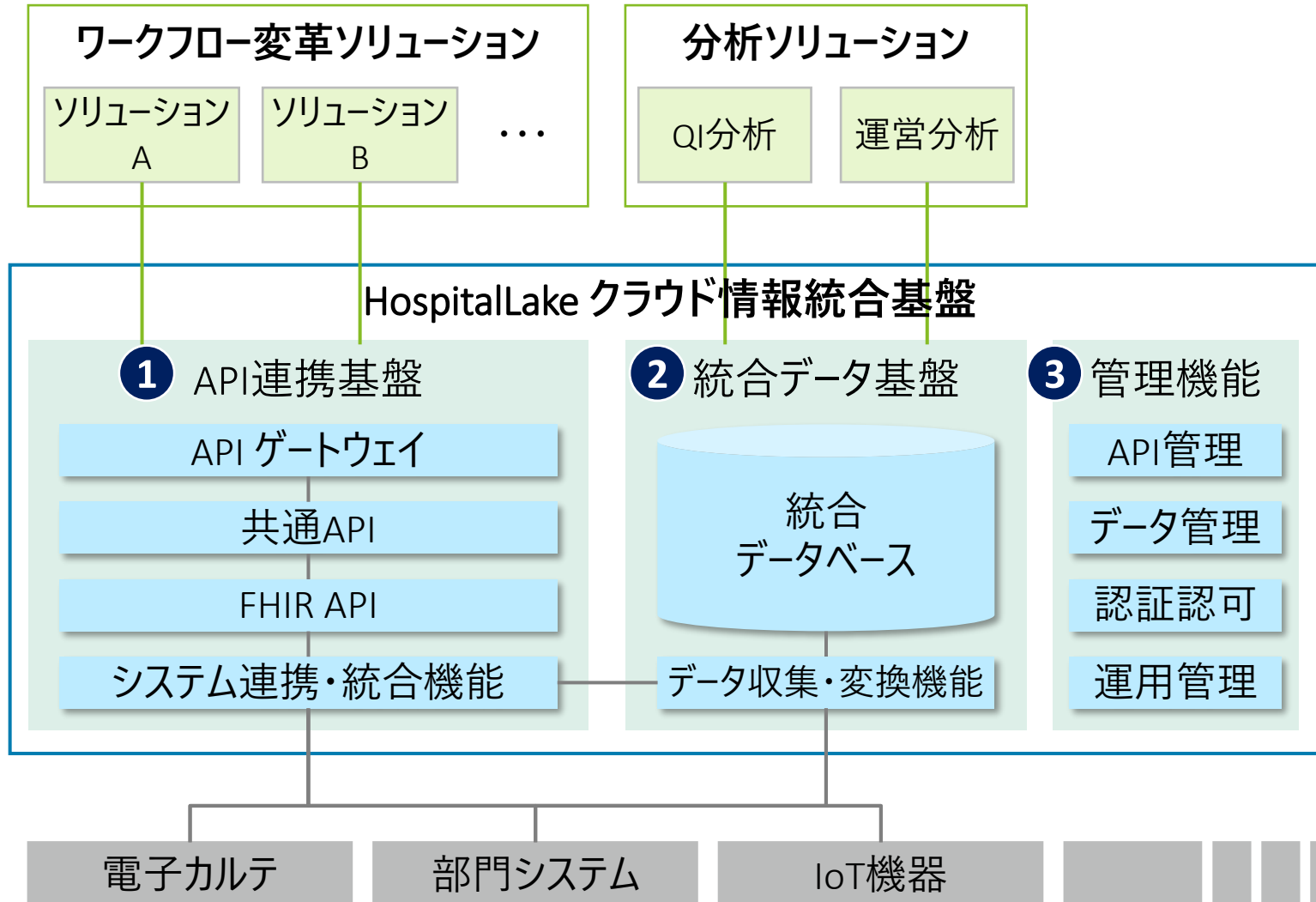
役割②: データの連携・統合

- ✓ 医療機関におけるデータ利活用の促進
- ✓ データ分析の高度化・迅速化による改善強化
- ✓ AI活用の促進



HospitalLakeは、①API連携基盤、②統合データ基盤、③管理機能で構成されます

HospitalLakeの機能概要



①API連携基盤

- ✓ 病院情報システム・ソリューションをリアルタイムに連携・統合

②統合データ基盤

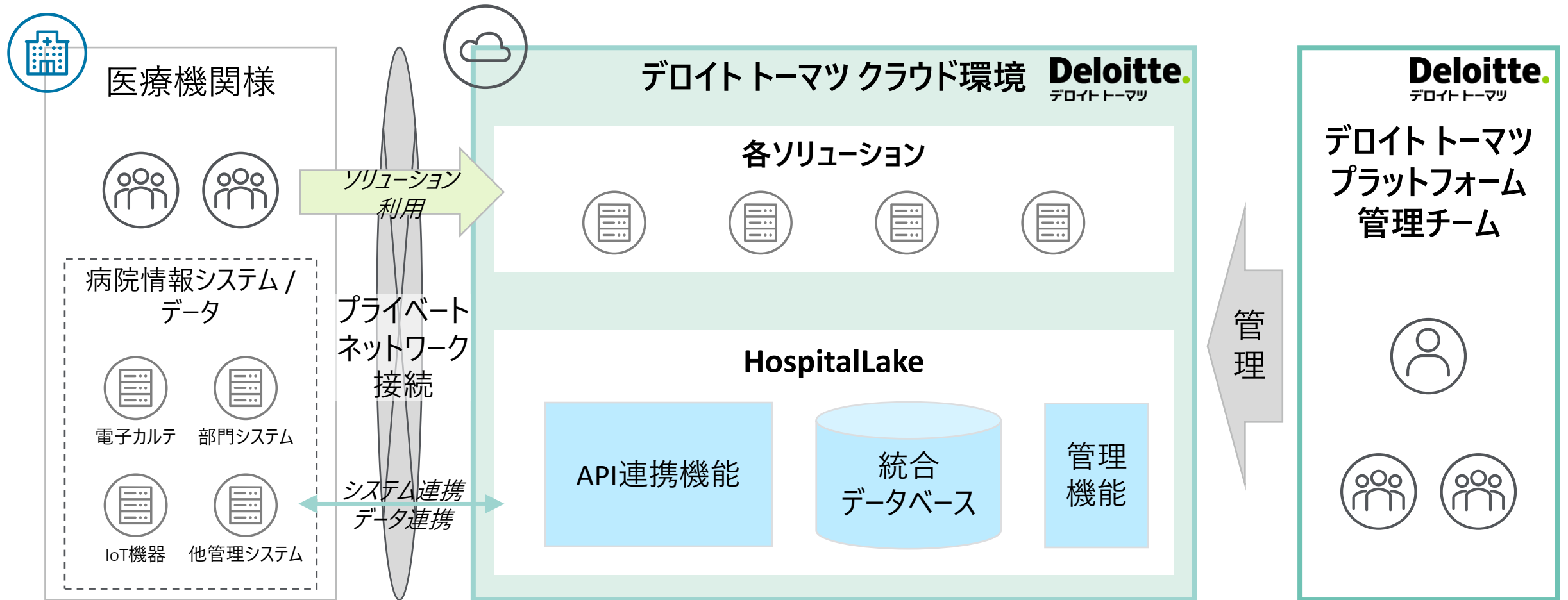
- ✓ 様々なデータを収集し、正規化されたデータモデルで蓄積

③管理機能

- ✓ 継続的な変革・改善に必要なAPIやデータの管理機能を提供

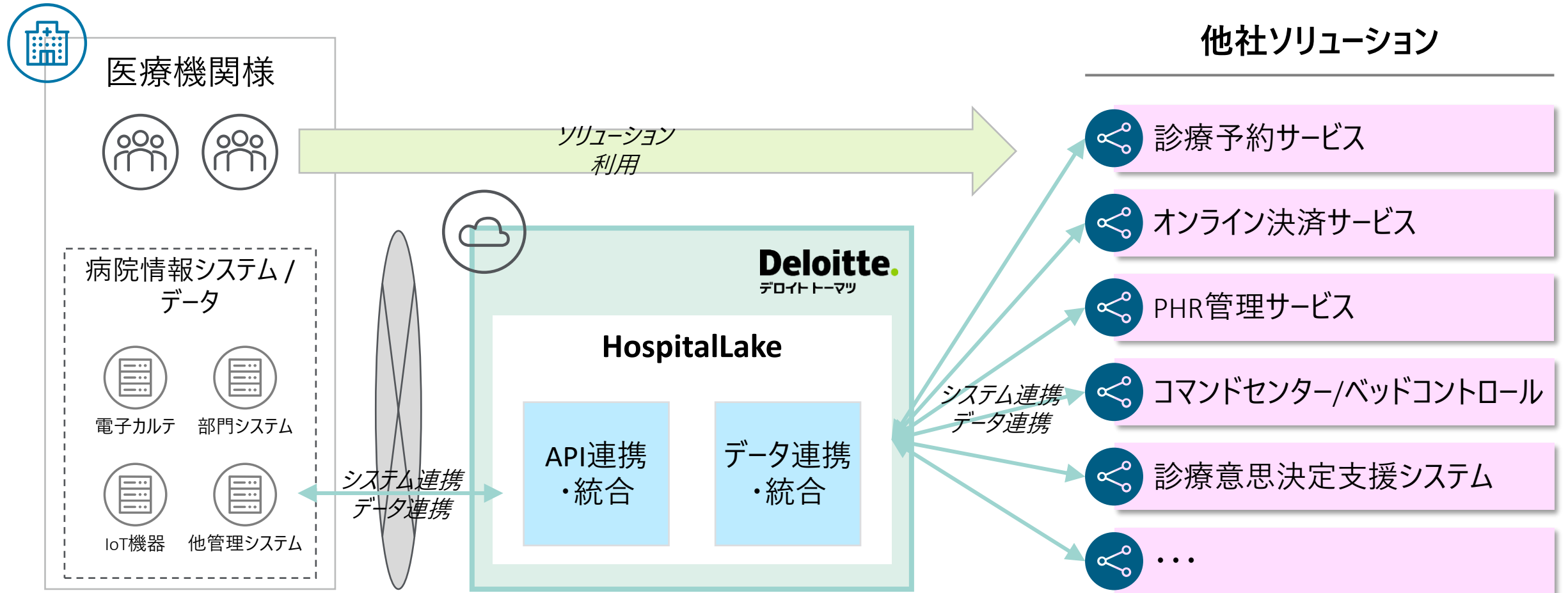
HospitalLakeはクラウドサービスとして提供し、導入と導入後の管理はデロイト トーマツが実施します。医療機関様はソリューションの利用とワークフロー変革に注力することが可能です

HospitalLakeのご利用イメージ①



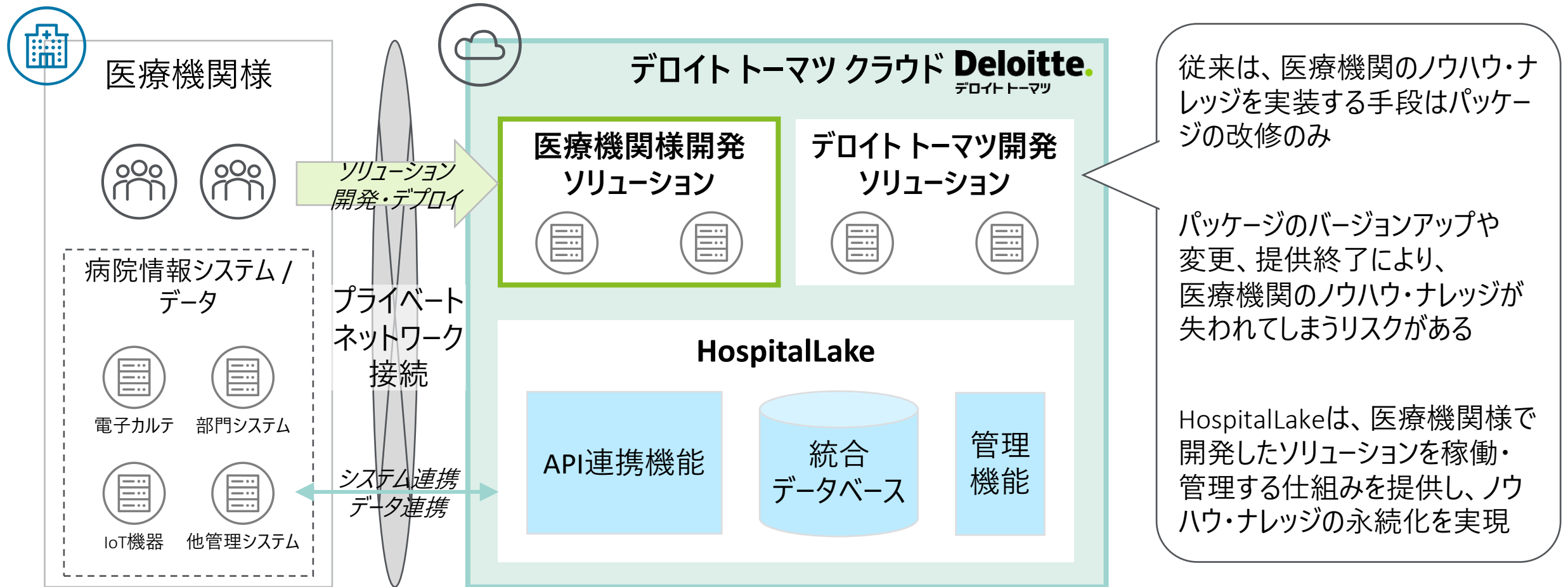
HospitalLakeを經由して、他のヘルステック企業様が提供するソリューションも利用可能となります

HospitalLakeのご利用イメージ②



HospitalLake上で医療機関様が開発したソリューションを稼働させることが可能です 医療機関様のノウハウ・ナレッジを蓄積し永続化することが可能です

HospitalLakeのご利用イメージ③





4. 今後に向けて

医療機関様、ソリューションプロバイダー様（ベンダー様）と協働して変革にチャレンジして参りたいと考えています

今後に向けて

① 変革に共に取り組ませていただける医療機関様を募集しております

- ✓ 病院情報システムの更改のタイミング等で、医療DXにチャレンジされるお考えをお持ちでしたら是非お声がけをいただければと思います

② ソリューション提供企業様との協業を推進して行きます

- ✓ HospitalLakeとソリューションの接続や、サービス利用手続き、保守サポートの事前整理に取り組み、医療機関様へのソリューション導入の効率化・低コスト化を目指していきます

③ Hospital Managed Service / HospitalLake / ソリューションの拡充

- ✓ AIを活用したソリューションの拡充、APIや利用可能データの拡充を進めております

End of File

